



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション  
コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>



代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岩崎 高治  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経経本部副本部長 兼 IR部長 (氏名) 金子 和夫 TEL 03-5807-5111  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	400,148	6.0	12,410	39.2	12,851	37.7	8,534	33.1
2023年2月期第2四半期	377,563	—	8,914	△41.6	9,331	△40.2	6,412	△40.5

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 8,580百万円 (32.7%) 2023年2月期第2四半期 6,468百万円 (△39.2%)  
(参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。  
売上高 2024年2月期第2四半期 385,663百万円 (5.9%) 2023年2月期第2四半期 364,251百万円 (-%)  
営業収入 2024年2月期第2四半期 14,484百万円 (8.8%) 2023年2月期第2四半期 13,311百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	181.87	—
2023年2月期第2四半期	136.83	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。  
2023年2月期第2四半期に係る各数値は、当該会計基準等を適用後の数値となっており、営業収益は対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	279,673	128,945	46.1	2,747.53
2023年2月期	280,810	122,002	43.4	2,599.79

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 128,945百万円 2023年2月期 122,002百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年2月期	—	40.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	801,000	4.6	19,800	3.4	20,500	2.4	13,500	1.3	288.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	49,450,800株	2023年2月期	49,450,800株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	2,519,389株	2023年2月期	2,522,786株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	46,929,037株	2023年2月期2Q	46,869,043株

(注) 期末自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式(2024年2月期2Q 80,500株、2023年2月期 84,300株)が含まれています。

また、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。(2024年2月期2Q 83,136株、2023年2月期2Q 88,520株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高止まりによるインフレの継続、世界規模での金融引き締め等による景気停滞、円安の影響等により、先行き不透明な状況が継続しておりますが、新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更や行動制限の撤廃に伴い国内の社会経済活動が正常化に向かう中、4～6月の経済成長率は底堅い状況にあり企業業績は好調に推移しました。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、商品価格上昇により収益面では総じて回復傾向が見られましたが、物価上昇や実質賃金の減少に伴う今後の消費マインド低下が懸念されるだけでなく、人件費や電力料金、物流費をはじめとする各種コストの上昇等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

こうした経営環境のもと、当社グループは、「第六次中期経営計画」で構築したものと外部環境の変化を踏まえ、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け2030年度に当社が目指す姿を見据えて、以下の3つを主要テーマとした「第七次中期経営計画」に当連結会計年度より取り組んでおります。

- ・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につながるという認識から、人財の成長や働きがいのある職場に向けた投資を行います。
- ・同質化競争からの脱却～ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけるとともに、お客様とライフがシームレスにつながる便利なお買い物環境の実現に向け「ネット事業」の拡大、スマートフォンで利用できるライフアプリからの情報提供により、お客様に快適な買い物体験の提供を目指します。
- ・持続可能で豊かな社会の実現に貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会の実現のための取り組み（環境負荷低減、地域社会への貢献等）を実施していきます。

また、3つのテーマを推進するにあたり、人手不足の状況でも第七次中期経営計画をやり遂げるために生産性を高めるとともに、コストの最適化を目指し『「カイゼン」の輪をつなぐ』のスローガンのもと全従業員が自ら「カイゼン」に取り組む活動が着実に浸透してきております。

本年度の具体的な取り組みとしては、7月にライフアプリを刷新しさらに便利でお得な機能を追加しました。また、ライフのクレジットカード「LC JCBカード」の会員様が50万人を突破し、ポイントキャンペーンを6月から8月にかけて毎月1回ずつ期間限定で開催しました。

新規店舗としては、3月に宝塚中山寺店（兵庫県）、ビオラルパルコヤ上野店（東京都）、4月に川崎塚越店（神奈川県）、当社300店舗目となるセントラルスクエアらぼーと門真店（大阪府）、6月に梅島駅前店（東京都）、当社が初めて手掛ける「大型ビオラルカフェ」を併設したビオラル有明ガーデン店（東京都）を出店しました。既存店舗では、大泉学園駅前店、毛馬店で「BIO-RAL（ビオラル）」商品や冷凍食品等の品揃えを大幅に拡充する大型改装を行いました。

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は4,001億48百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。一方、販管費は、水道光熱費の高騰、新規出店に伴う賃借料等の各種物件費の増加に加え、採用強化等に伴う人件費も増加しましたが、生産性の向上、コスト最適化の取り組みが計画以上の結果につながり、営業利益は124億10百万円（前年同四半期比39.2%増）、経常利益は128億51百万円（前年同四半期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億34百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### (小売事業)

営業収益は4,000億40百万円（前年同四半期比6.0%増）、売上高は3,856億63百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は126億44百万円（前年同四半期比37.7%増）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門1,668億95百万円（前年同四半期比4.8%増）、一般食品部門1,734億98百万円（前年同四半期比7.2%増）、生活関連用品部門335億41百万円（前年同四半期比5.4%増）、衣料品部門117億28百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

#### (その他)

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は13億73百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は2億7百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,796億73百万円と前連結会計年度末に比べ11億36百万円減少いたしました。

流動資産は、786億20百万円と前連結会計年度末に比べ18億70百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金が16億39百万円、未収入金が16億76百万円、それぞれ減少した一方、売掛金が15億95百万円、増加したことによるものであります。

固定資産は、2,010億53百万円と前連結会計年度末に比べ7億33百万円増加いたしました。これは主として無形固定資産が7億86百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,507億28百万円と前連結会計年度末に比べ80億79百万円減少いたしました。これは主として買掛金が64億15百万円、未払法人税等が26億29百万円、未払金（流動負債その他）が11億67百万円それぞれ増加した一方、短期借入金及び長期借入金の合計が192億71百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,289億45百万円と前連結会計年度末に比べ69億42百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が68億89百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、76億87百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、285億17百万円（前年同四半期比58.1%増）となりました。これは主として仕入債務の増加が64億15百万円、非資金性損益項目である減価償却費が76億75百万円、税金等調整前四半期純利益が125億87百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、85億57百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。これは主として6店舗の新設、既存店舗の改装など、有形固定資産の取得による支出が72億90百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、215億99百万円（前年同四半期比267.2%増）となりました。これは主として長期借入れによる収入が130億円あった一方、短期借入金の純減少額及び長期借入金の返済による支出が322億71百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月10日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、今後の景気・個人消費動向を注視し、連結業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,727	8,087
売掛金	9,209	10,805
商品及び製品	25,811	26,841
原材料及び貯蔵品	250	302
未収入金	29,664	27,988
その他	5,826	4,594
流動資産合計	80,490	78,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	91,932	93,301
土地	39,614	39,614
その他(純額)	24,334	22,862
有形固定資産合計	155,880	155,778
無形固定資産	3,218	4,005
投資その他の資産		
差入保証金	24,513	24,759
その他	16,749	16,553
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	41,220	41,270
固定資産合計	200,319	201,053
資産合計	280,810	279,673
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,971	48,387
短期借入金	44,120	16,020
1年内返済予定の長期借入金	8,628	10,173
未払法人税等	2,363	4,992
賞与引当金	2,764	2,995
販売促進引当金	21	21
その他	28,367	30,271
流動負債合計	128,236	112,861
固定負債		
長期借入金	17,497	24,781
役員株式給付引当金	43	35
退職給付に係る負債	889	933
資産除去債務	5,350	5,548
その他	6,790	6,568
固定負債合計	30,571	37,866
負債合計	158,807	150,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,696
利益剰余金	109,147	116,037
自己株式	△3,838	△3,830
株主資本合計	121,010	127,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	695
土地再評価差額金	△1,154	△1,154
退職給付に係る調整累計額	1,558	1,496
その他の包括利益累計額合計	992	1,038
純資産合計	122,002	128,945
負債純資産合計	280,810	279,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	364,251	385,663
売上原価	252,407	265,804
売上総利益	111,843	119,858
営業収入	13,311	14,484
営業総利益	125,155	134,343
販売費及び一般管理費	※1 116,241	※1 121,932
営業利益	8,914	12,410
営業外収益		
受取利息	66	61
受取配当金	27	31
リサイクル収入	166	182
データ提供料	78	84
その他	202	203
営業外収益合計	540	564
営業外費用		
支払利息	90	95
その他	33	27
営業外費用合計	123	123
経常利益	9,331	12,851
特別損失		
本社移転費用	—	80
店舗閉鎖損失	—	61
固定資産除却損	15	59
災害による損失	—	※2 49
その他	—	13
特別損失合計	15	264
税金等調整前四半期純利益	9,315	12,587
法人税、住民税及び事業税	2,355	4,067
法人税等調整額	547	△14
法人税等合計	2,902	4,052
四半期純利益	6,412	8,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,412	8,534

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	6,412	8,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	107
退職給付に係る調整額	8	△61
その他の包括利益合計	55	46
四半期包括利益	6,468	8,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,468	8,580



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,315	12,587
減価償却費	7,385	7,675
退職給付費用	12	△88
賞与引当金の増減額 (△は減少)	320	230
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△7	0
契約負債の増減額 (△は減少)	△95	27
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△26	43
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△12	△8
受取利息及び受取配当金	△93	△93
支払利息	90	95
固定資産除却損	15	59
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,992	△1,595
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△388	△1,082
未収入金の増減額 (△は増加)	2,524	1,678
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,599	6,415
未払金の増減額 (△は減少)	613	1,753
その他	△1,154	2,409
小計	21,107	30,109
利息及び配当金の受取額	28	32
利息の支払額	△84	△89
法人税等の支払額	△3,013	△1,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,037	28,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
有形固定資産の取得による支出	△13,257	△7,290
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△288	△845
貸付けによる支出	△22	△144
差入保証金の差入による支出	△448	△260
差入保証金の回収による収入	24	14
その他	△699	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,689	△8,557
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,650	△28,100
長期借入れによる収入	5,500	13,000
長期借入金の返済による支出	△5,258	△4,171
リース債務の返済による支出	△598	△684
配当金の支払額	△1,874	△1,643
自己株式の取得による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,881	△21,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,533	△1,639
現金及び現金同等物の期首残高	9,409	9,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,875	7,687

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は2023年8月31日開催の取締役会において、東京本社の移転方針を決議いたしました。これに伴い、不要となる固定資産の耐用年数を移転予定日までの期間に見直しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ35百万円減少しております。

(四半期連結損益計算書関係)

## ※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
給与手当及び賞与	43,857百万円	45,862百万円
賞与引当金繰入額	2,870	2,989
退職給付費用	782	704

## ※2 災害による損失

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

2023年8月に発生した台風7号に伴う商品廃棄損、廃棄物処理費用として49百万円を計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	小売事業				
営業収益(注)1					
顧客との契約から 生じる収益	374,840	533	375,374	—	375,374
その他の収益(注)4	2,188	—	2,188	—	2,188
外部顧客への営業収益	377,029	533	377,563	—	377,563
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	446	732	1,179	△1,179	—
計	377,476	1,265	378,742	△1,179	377,563
セグメント利益	9,180	150	9,331	—	9,331

(注)1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	小売事業				
営業収益(注)1					
顧客との契約から 生じる収益	397,360	594	397,955	—	397,955
その他の収益(注)4	2,192	—	2,192	—	2,192
外部顧客への営業収益	399,553	594	400,148	—	400,148
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	487	778	1,265	△1,265	—
計	400,040	1,373	401,413	△1,265	400,148
セグメント利益	12,644	207	12,851	—	12,851

(注)1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。